

平成29年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：主穀担当

内線：4145

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B77	水田フル活用支援事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費	
事業期間	平成27年度～平成30年度	根拠法令	なし				挑戦項目 分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立	
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>平成30年産から生産数量目標を廃止するなど米政策が見直されることから、今後は作物の選択や販売先など生産者自らの経営判断は強く求められることになる。</p> <p>このため、水田をフル活用した水田農業経営の安定的な発展を支援するため、実需者ニーズに応じた主穀作の品質・収量性向上に向けた技術対策や普及・定着に向けた取組を行うとともに作付が急増している飼料用米等の円滑な流通を支援する。</p> <p>(1) 主穀作生産振興対策事業 2,806千円 (2) 省力・低コスト技術普及活動事業 894千円 (3) 飼料用米流通特別支援事業 8,000千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 主穀作生産振興対策事業 2,806千円 水稻、麦類及び豆類の生産振興を図るため、品質向上や新品種の育成や生産技術確立、対策の周知を図るとともに消費拡大を推進する。</p> <p>イ 省力・低コスト技術普及活動事業 894千円 水田経営の収益性を高めるため規模拡大やコスト低減に有効な技術対策を展示ほの設置や講習会等により周知する。</p> <p>ウ 飼料用米流通特別支援事業 8,000千円 飼料用米の生産拡大に伴う流通量の増加に対応するため、地域内流通に取り組む農業者等に対し、継続的な取組に要する経費の一部を助成する。</p> <p>(2) 事業効果 担い手が主体的な経営判断で作物を選択し、収益性が高く安定的な経営が可能となる。</p> <p>(3) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携 J A等の農業団体との連携</p>					
2 事業主体及び負担区分									
(1) 県(県10/10) (2) 県(県10/10) (3) 県(県1/2)									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×13人=123,500千円									
				財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
予算額									
決定額	11,700							11,700	△1,835
前年額	13,535							13,535	